

平成29年

福祉文教委員会

12月22日

豊明市議会

福祉文教委員会会議録

平成29年12月22日

午後1時00分 開会

午後1時45分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤千鶴	副委員長	清水義昭
委員	富永秀一	委員	鵜飼貞雄
委員	毛受明宏	委員	早川直彦
委員	近藤善人		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石川晃二	議事課長	鈴木美智雄
庶務担当係長	長野直之	議事担当係長	水野美樹

4. 説明のため出席した者の職、氏名

教育長	伏屋一幸	健康福祉部長	藤井和久
児童福祉課長	加藤育子	指導保育士	樋口桂子

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

なし

午後1時開会

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ただいまから福祉文教委員会を開会いたします。

これより会議を開きます。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

それでは、議題1、所管事務調査についてを議題とします。

待機児童問題に係る所管事務調査として、10月16日に担当課から聞き取り調査を実施し、本市の現状について確認しました。10月26日には船橋市への行政視察を実施し、待機児童解消に向けた積極的な取り組みについて研修してきました。

今回は、当事者である子育て中のお母さん方の意見をお聞きするためのアンケート調査の実施について協議します。

目的、待機児童問題に関して、保育施設の利用状況等について把握するため、実態調査を行う。

調査方法といたしましては、アンケートによる調査を実施する。

調査内容は、机上へ配付してありますが、アンケートの調査票により調査を実施します。アンケート調査内容は、7項目にわたりアンケートを実施したいと思っております。

調査場所・日時は、平成30年1月9日午前10時から、内山保育園の一時保育受け付け時にアンケート票を配布する。

以上でございます。

この内容で何か御意見のある方、挙手をお願いいたします。

早川委員。

○早川直彦委員 これ、お住まいですね、住まいがどの地域かというのがこのアンケートに入っていないので、傾向としてどの地域がというのがわかるかというのかなと思いますので、1の前に、「お住まいを教えてください（何々）町」というのを入れるとどうかなと思うんですが。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それはどこの部分がいい。

○早川直彦委員 一番最初……。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 一番最初。

○早川直彦委員 1で入れて、あと1以降1つ足して、2、3、4と繰り返していけばいいと思うんですが。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 具体的な言葉でお願いできますか。

○早川直彦委員 よろしいでしょうか、委員長。

1、お住まいを――下の文章と合わせると――教えてくださいがいいですかね。お住まいを教えてください。これは括弧にして町、括弧の中に間米町とか栄町とかがって書いてもらうほうが、余り細かくするとというのもありますので、おおむねのその町がわかればいいのか。

どうでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） お住まいを教えてくださいという表現でよろしいでしょうか。

富永委員。

○富永秀一委員 見ていて思ったのは、そもそも豊明市内にお住まいということ自体書いてないなというふうに思ったんですけど。そういえばと、そう思ったんですけど。それはどこかで要るかなとは思ったんですが。

その地区まで要るかどうかというところですけど、もし要るとして、区単位でもいいのかなと思ったり。何々町まで要りますかね、区。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 小さい子どもを持ってらっしゃる御家庭、多分、何々区ってわからない方がおみえになると思うんですよ。なので、町がいいのかなと。ちょっと二村台だと町がないので、そこはびっぴって消してもらおうような形になると思うんですけど。たしか二村台だけかな、町がついてないのは。

なので、お住まいはで（ ）町ぐらいな感じ、町は皆さん多分、住所は知ってらっしゃるのでわかると思うので、それぐらいが無難かなと。考えたのは、中学校区だとか小学校区だとかも考えたんですけども、それも若いお母さんたちだとわからない可能性もあるかなと、はい。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 今まで議会でやったアンケートもこの辺が、町のやつと区のやつがまじっているのも事実なんですよ。だから、町だったら町のほうに合わせたほうがいいのかなというふうに思いますが。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 どちらにお住まいですかで（ ）町とか、どうですかね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） どうでしょうか。どちらがよろしいですか。

（どちらでもいいですよねの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） どちらにお住まいですかのほうがいいという……。どう

でしょうか。

(早川さんはどっちなんですの声あり)

○早川直彦委員 お住まいを教えてください。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) お住まいを教えてください。何か。

(発言する者あり)

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 早川委員。

○早川直彦委員 1、どちらにお住まいですか。()町でよろしいんじゃないでしょうか。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 今、早川委員が言われた、お住まいはどちらですか()町ということでしょうか。

(異議なしの声あり)

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) ほかにどうでしょうか。

清水委員。

○清水義昭委員 アンケートの一番最初の行なんですけど、現在、豊明市では待機児童問題が深刻になっています。これちょっと、保護者の方とかお母さん方の不安をあおってしまうような文章になるのかなというふうにちょっと危惧するので、ここ、ちょっと変えたほうがいいのかというふうに思っています。具体的には、現在、全国的に待機児童が社会問題となっていますとか、何かそんなような文章がいいのかなと、豊明市ではとか深刻とかという文字は外して、全国的に社会問題になっているというような文言にしたほうが、不安をあおることはないのかなというように感じています。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 富永委員。

○富永秀一委員 そもそも所管事務調査をしなければいけないというぐらい、やっぱり深刻だと思うし、豊明市のことをやっぱり言わないといけないと思うんですけど。待機児童について問題になってますぐらいだったらいいかなと思いますが、豊明市はやっぱり要ると思います。だから、委員会としてやっているわけなので。実際、121人の待機児童というのはやっぱり問題だと思うんで、それは。だからこそ聞きたいんだという意味合いで、あったほうが良いと思います。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 御意見のある方、ほかにどうでしょうか。

早川委員。

○早川直彦委員 確かに富永委員が言われるように、その待機児童のことで調べてるんですが、アンケートをとった方に、印象という部分、何か物すごく待機児童なのかなという部分を与えるのが、それがいいのかというのは、確かに清水副委員長の言うこともわかる

んですよね。

全国的に待機児童が社会問題になっているというのはこれ、もう当たり前、もう全国的にというのがありますので、私も余りあおるようなのはちょっと抵抗感があるかなって、素朴に現状を知ってほしいという部分で答えていただきたいのもあるから、余り極端にちょっと不安視させるような見出しに読み取れるようであるし、わかっている人はわかっていると思うんですが、その辺はちょっと一考してもいいのかなというふうに思います。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 要するに、回答者に対してバイアスをかけないよという意味合いであれば、確かにそれはあるかもしれないなというふうには思います。ただ、豊明市というのをやっぱり、全国的にというより豊明市で問題になっていることぐらいはあったほうが良いとは思いますが、豊明市についての実態を知りたいんだということですのでね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 じゃ、折衷案として、豊明市も入れるということであれば、豊明市ではというよりか、豊明市においても豊明市でも待機児童が問題化していますとか、それぐらいであれば、ちょっと包み込めるのかなという気はしますけどね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、現在、豊明市でも待機児童が問題になっていますでいいですか。豊明市においても待機児童が問題になっています。

（発言する者あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 問題になっていますでいいですか。

それでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 4番目のところの設問を見ると、これ、今現在が待機児なのかとか、待機児でないのか……。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 新しい5ということですよ。

○早川直彦委員 ええ。今、4番目で、新しいほうで4番目のところですが、保育施設の利用状況を教えてください。今現在が待機児なのか、待機児でないのかによって、ちょっと丸のつけ方が変わるのか、わかりやすいのかわかりにくいのか、その待機児の方の設問なのか待機児でない設問なのかというのがちょっと悩ましいかなというのはちょっと感じるんですが、今現状が、どういうふうにするか解決するのかなど。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 待機児童であって例えば認可外に行ってるのかという場合もあるとは思いますが、そうすると、多分希望どおりではないが認可外保育施設を利用ということだと思わうんですけど、そのほかの設問で、待機状態であるかどうかというのはわかりますので、これ、結構欲張った設問になっているのでわかりにくいかもしれませんが、ここで改めて分けなくても、上で一応待機児童の状態だったか、あるいは昔そうだったかというのは聞きますので、それとあわせて見ればわかるのではないかなと思います。

（よろしいですかの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 ぱっと見て、保護者の皆さんがこれでわかりやすく丸をつけれる状態だったら問題ないんですけど、どうでしょうか。ふっとこう言われ……。わかっているほうからすると丸つけやすいですけど、今の現状のわからない方が素直に丸をつけるのにどうかな、ちょっとどうしたらいい。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 実はこれと待機児童に関係する部分で全く同じ目的ではないんですけど、国がとったアンケートというのがあって、それに、こういう似たような設問があったので参考にさせてもらったんですけど、自分自身のお子さんのことであれば、ちょっと考えないといけないかもしれませんが、簡単にぱっとは丸はいかないかもしれませんが、私や毛受さんも少なくともそこにはおりますので、わからなければ聞いてもらえばと思いますし、これをあんまり簡略化するのも難しいかな。分けるとすればそれぞれを保育所、一時保育と認可保育所と認可外保育所と保育施設というふうなのと、希望どおりかどおりでないかというのを分けるという手もありますけど、それもまた複雑に、どっちにしてもなるかなという気はしますけど。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 それは決着つけたほうがいいですね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 決着、どうでしょうか。

（ほかの委員の人の意見はどうですかの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかの委員の方、どうでしょうか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 原案のままでいいと思ってます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほか。

（私もこのまんまでいいの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 毛受委員、どうでしょうか。

○毛受明宏委員 そのままでいいです。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） いいですか。じゃ、この利用状況についてはこのままということ。

ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 この後に、丸があつたりなかつたりしてるので、ないほうが多くなってるので、ないほうにそろえたいかと思えます。今の3番目のどのくらいですかの後ろと、あと、希望どおりでない方どのような点かお聞かせくださいのところ丸があるんですが、ほかはついてないので、そこ、ちょっと、QRコードを入れるときにまたそこは削っておきたいと思えます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 これアンケート、期限があつて、裏面のほうに期限が書いてあるんですけど、先ほどこれ、目にしたときに、期限がどこにあるかちょっとよくわからなかったんで、これ、体裁の部分にはなるんですけど、これちょっと1段上げるような形で、若干空き間を持たせてあげたほうがいいのかなど。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） よろしいでしょうか、皆さん。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにどうでしょうか、いいですか。

石川局長。

○議会事務局長（石川晃二君） 1月9日の実施方法というのは、どういう方法でされるかというのは話し合いはされているんですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 実施方法は、1月9日10時に内山保育園のほうに毛受委員と富永委員が行きまして、保護者の方にアンケートをお配りするということになっております。よろしく申し上げます。

あと、よろしいですか。

以上で、この内容……。

富永委員。

○富永秀一委員 その際、保育園内に普通に入ってお配りすることについては大丈夫かどうかについての確認をお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、担当課にお聞きします。

課長、内山保育園のほうで、どこまで、どの位置でしたらアンケートを実施させていただくか、ちょっと教えていただきたいんですけど。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 敷地内に入ってもいいかどうかという、そういったことですかね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） はい。

○児童福祉課長（加藤育子君） 大丈夫です。

○指導保育士（樋口桂子君） 事前にお伝えしたいですね。事前に園のほうには。

○児童福祉課長（加藤育子君） 園にはね。でも、対象者の方にはもう当日なので、御協力いただける方ということではないですね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） じゃ、この委員会で決定しましたら、内山保育園のほうにお伝え願えるということによろしいでしょうか。

○児童福祉課長（加藤育子君） はい。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） よろしく願いいたします。

毛受委員。

○毛受明宏委員 やっぱり敷地外だと、違う業者の方に見られると思いますので、やはり中へ入れてもらうことを希望します。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） はい。

委員の方、あと、よろしいでしょうか。

早川委員。

○早川直彦委員 細かいところの微調整が出てきたときも、正副委員長に一任で、もうとっておいたほうがいいんじゃないかなと思うんですけど。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、アンケートの内容について、今、訂正するところは、語句については、言っていたように直していただいて、その後ちょっと微調整がありましたら、委員長、副委員長に一任願えるということによろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、この内容にて実施することによろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、当局において何かございますでしょうか。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 内容がこれでということ、決着がついたところでもありますが、ちょっと感想まで。

まず、私たちがアンケートをとるといえるときには、お子さんが複数いるときには、そのお子さんが何番目のお子さんでという、1人の軸を決めてとるという形をとることが基本的な感じになるんですね。なぜかという、ここでこう複数の答えを、お子さんを選んでいくもんですから、その下のお子さんがどの年齢のお子さんに対しての回答になるかというクロス集計ができないもんですから、そういったことを期待せずに、1問に対しては1歳児が何%、2問の待機児童、この3つの項目に対しては何%という、それぞれの項目についての数という形での集計で見るといえる形になるかと思えます。

それとあと、事務局としては、7番のところは、121人の待機児童が発生していますというふうに書かれてるんですけど、やっぱり国の基準でいう、どこの保育園でもいいから入れないという待機児童と、園を選んで、あいているにもかかわらず入らない選択をしている待機児童とは、本質的に違うというふうに考えてますので、ここの数の捉え方というのが、ちょっと当局としては少し違和感を感じるころではありますが、感想までです。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 今の意見をお聞きして、何か御意見は。

早川委員。

○早川直彦委員 委員の中でちょっと、この出た意見を参考に直すべきなのか、そのままにするかということは、もう一回ちょっと協議したほうがいいんじゃないでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 富永委員。

○富永秀一委員 例えば何番目のお子さんかとかいうところがわかりやすくするというのは、例えば具体的にどんな情報があるんですか。

○児童福祉課長（加藤育子君） 例えば今回、一時保育で連れてきたお子さんが何歳のお子さんでという、その方に対して答えるというんだったら、このアンケートの中身というものが、1歳児でどうのこうのとかってクロス集計的にもできるんですけど、ゼロ歳児がおり、2歳児がおりというので複数で選んでいくと、下の答えも、ゼロ歳児に対してどの答えが下に対比するものかというのがもうぐちゃぐちゃなので、そのクロス集計にはならないもんですから。だから、1問ずつの集計という形で、単なる数集計という形で捉えて、これはそういうアンケートですということだったら、それはそれでいいと思えます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 であれば、1人のお子様に対して1枚という形であれば問題はない。

○児童福祉課長（加藤育子君） そういう形にする方法もあるかもしれないですね。

(それでいいじゃないですかの声あり)

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御意見ありませんでしょうか。

早川委員。

○早川直彦委員 休憩動議をお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 今、休憩動議が出ましたけど、休憩動議に賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 賛成多数ですので、暫時休憩にします。

午後1時22分休憩

午後1時44分再開

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き委員会を始めます。

アンケートを実施することは決定しましたが、当局の御意見もいただいて、アンケート内容をもう少し精査したほうがいいという御意見が多かったので、もう一度委員で検討をしたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 異議なしと認めます。それでは、次回、協議会を持ち、その後委員会としてアンケートの内容を決定したいと思います。

次回の委員会は12月25日の11時から福祉文教委員会といたしたいが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） それでは、25日11時から福祉文教委員会の委員会といたしたいと思います。

本日の会議はこれで終了いたします。ありがとうございました。

午後1時45分閉会